

本日（8/7）の意見交換の進め方と今後のスケジュール

H25 懇談会②
提出資料-1

■ 意見交換（質疑応答）の進め方

1. 意見交換の順番

- ① 第1回懇談会及び意見集約シートによる質問・意見等を優先し、項目毎に意見交換を行う。
※関連する質問や意見等を含めて行う。
※順番は、資料2の記載順に行う。
- ② ①の意見交換終了後、①以外の意見交換を行う。
(全ての分野を一括して実施)

2. 項目毎の意見交換の進め方

- ① 提出委員に、資料-2記載の概要に補足することが無いか確認し、必要に応じて委員から説明をいただく。
- ② 各作業部会（事務局）から委員への質問・意見の趣旨を確認しながら、現在の取組状況や意見に対する現在の考え方などを説明する。
- ③ 提出委員に、各部会（事務局）からの説明に対して、さらに質問や意見が無いか確認を行う。
併せて、他の委員に関連する質問・意見が無いかお聞きし、必要に応じて意見交換を続ける。
(他の委員の意見は担当分野の委員を優先する)

※各部会（事務局）においては、町村との調整などもあることから、その場で意見等にお答えできない場合もある。

■ 意見交換の視点（特にご議論をいただきたい内容）

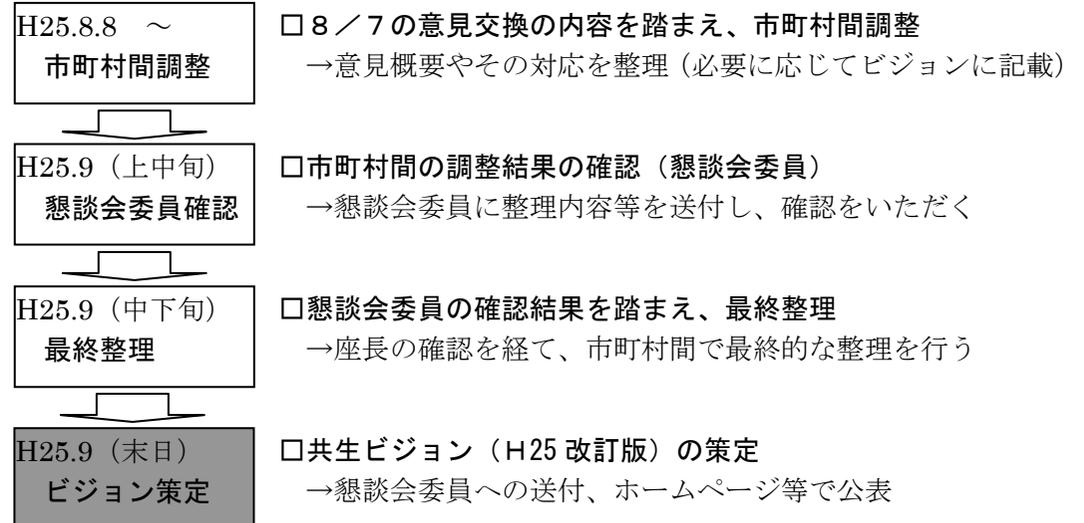
十勝定住自立圏におけるこれまでの取組経過を踏まえ、地域課題の解決や地域の更なる発展に向けて、十勝の市町村が、より「連携」を深めていく必要があると考えられる取り組みはないか。

【専門的立場（民間）から、行政（19市町村）への
具体的（目的や効果、実施手法など）な提案を議論】

例えば・・・

- これまで各市町村が単独で行っていた取組を連携することによって、より効果があがると考えられるもの
- 一つの市町村だけでは対応が困難な課題等を連携することによって、対応が可能になると考えられるもの

■ 共生ビジョン（H25改訂版）策定までのスケジュール（予定）



第1回懇談会及び意見等集約シートによる質問・意見等一覧

H25懇談会②
提出資料-2

■産業振興関連分野（環境等を含む）

No.	質問・意見等の概要	分野	関連協定項目
1	<p>■十勝バイオマス産業都市構想について</p> <p>バイオマス産業都市構想に、10年後の目標が示されているのは良いことだが、もう少し将来の構想（目標）も示されたら良いのではないか。</p> <p>また、何をするのか具体的な戦略を示してもらいたい。[質問等]</p>	産業振興 環境	<p>■1-4-2 フードバレーと かちの推進</p> <p>■1-4-3 企業誘致の推進</p>
2	<p>■十勝バイオマス産業都市構想について</p> <p>再生可能エネルギー（バイオマスの利活用）の部分は、バイオマス産業都市構想とオーバーラップする部分が多い。</p> <p>この部分については、共同参画するなど、環境も十分に位置づけしながら、推進した方が良いのではないか。</p>		<p>■1-5-1 地球温暖化防止 に向けた低炭素 社会の構築</p>
3	<p>■十勝バイオマス産業都市構想について</p> <p>バイオマス産業都市構想（概要版）の中に、水産類の加工廃棄物が入っていないように思うが、それは何故か。[質問等]</p> <p>また、木質系バイオマスの賦存比率は低いが、その利用と水資源確保との関係をどのように捉えているのか。[質問等]</p>		
4	<p>■農産物のブランド、観光客の誘致などについて</p> <p>各市町村の温度差が少なく、比較的連携して取り組みやすく、進展可能な項目は、農産物のブランド化、その付加価値関連産業の育成、その売り込み並びに観光客の誘致ではないか。</p> <p>そのためには、関係部署を集約して、問題に取り組める体制の構築が必要だと考えるがいかがか。</p>	産業振興	<p>■1-4-1 農商工産学官連 携及び地域ブラン ドづくり推進</p> <p>■1-4-2 フードバレーと かちの推進</p> <p>■1-4-3 企業誘致の推進</p> <p>■1-4-5 広域観光の推進</p>
5	<p>■地産地消率などの数値化について</p> <p>十勝は、カロリーベースの自給率が高いが、実際の食卓における食べ物が地元でどの程度生産されているのかを考えると自給率は低いと感じる。</p> <p>食卓における自給率又は地産地消率を分かりやすく数値で表す方法を考えられないか。</p>	産業振興	<p>■1-4-2 フードバレーと かちの推進</p> <p>■2-2-1 地産地消の推進</p>
6	<p>■高齢者の教育と再雇用について</p> <p>バイオマス産業都市構想など、様々な取り組みがあるが、そうしたことに、高齢者が関わっていけるように、定年退職した方々への再教育（職業訓練）などを考えていただき、構想などを担っていただいてはどうか。</p>	産業振興 (生涯学習)	
7	<p>■十勝にクラウド基地を</p> <p>情報化の進展に伴い、自治体などのコンピュータシステムのクラウド化が進んできている。</p> <p>苫小牧では、冷涼な気候や多様な自然エネルギーを活かしデータセンターの誘致などに取り組んでいるが、バイオマス産業都市構想にもあるように、十勝の方がエネルギー資源は豊富である。夢のような話かもしれないが、十勝にクラウド基地を造るようなことも考えられるのではないか。</p> <p>また、こうした取り組みは、産業、環境、教育など複数分野に繋がるものであると考える。</p>	産業振興 など	<p>■1-4-2 フードバレーと かちの推進</p> <p>■1-4-3 企業誘致の推進</p>

■産業振興関連分野以外

No.	質問・意見等の概要	分野	関連協定項目
8	<p>■医療体制の連携について</p> <p>定住促進には、医療機関の充実が重要課題である。都市部と郡部の格差は歴然としており、圏域内から圏域外（札幌など大都市）に治療を求める患者も少なくない。</p> <p>こうした状況の中で、どのような方法で十勝圏の医療の連携を模索するのか。帯広市に拠点を置き、各町村が利用する現状を充実させるのか現実的な対応ではないかと考えるが。[質問等]</p>	医療	■1-1-2 地域医療体制の充実
9	<p>■子ども達の見守りにについて</p> <p>内地で子どもが襲われ、見守り隊が助ける事件があった。十勝の中でも、子ども見守りに関する取り組みは様々だと思うが、何か連携することができないか。</p>	教育	
10	<p>■学校教育について</p> <p>これからの十勝を担う人材に、十勝定住自立圏の取り組みを感じることができる取り組みを期待したい。</p>	教育	
11	<p>■生涯学習（人材育成）について</p> <p>各市町村で生涯学習が活発に行われているが、定住自立圏に関する講座を設けるなど、人材の育成を図ってはどうか。</p>	教育	■1-3-2 生涯学習の推進
12	<p>■防災協定の公開等について</p> <p>各市町村で協定している防災協定の公開とその活用について、何を公開し、どんな成果があったのか。又は今後、どのように取り組むのか伺いたい。[質問等]</p>	防災	■1-6-1 地域防災体制の構築
13	<p>■物理的な距離（地域差）の問題について</p> <p>情報に関しては地域差は無くなってきているが、地域公共交通の場合、中々、物理的な距離の差は埋まらない。こうしたことも考慮した中で議論をしていただきたい。</p>	地域公共交通等	■2-1-1 地域公共交通の維持確保と利用促進
14	<p>■消費生活相談業務について</p> <p>消費生活相談で大事なことは、被害の未然防止と被害者救済である。</p> <p>そのために各市町村が行うべきことは何かということ踏まえた上で、広域処理によって効率性や迅速性などのメリットがあるのであれば、そういった視点でどういったあり方が良いのか検討すべきではないか。</p>	消費生活	(継続協議)
15	<p>■消費者教育推進法について</p> <p>昨年、消費者教育推進法が制定され、消費者教育に関する動きが出てきている。この法律が、住みやすい社会をつくっていく上で、どのような影響があるのか、新しい事例として検討していただきたい。</p>	消費生活	
16	<p>■コンピュータシステムの共同利用等について</p> <p>課題が多いとのことだが、東京都の各市が共同で、コストを抑える取り組みを十数年前から行っているため、そうした先進事例も研究すべきではないか。</p>	コンピュータシステムの共同利用・共同開発	(継続協議)
17	<p>■消防の広域化について</p> <p>消防の広域化は、各市町村間で財政負担、運営上の問題がネックになり、広域化は容易でないと聞いているが、同意できる点は見出せないのか。広域化が図られれば、防災上からも大きな進展になると思うがいかがか。[質問等]</p>	その他	(継続協議)
18	<p>■TPPについて</p> <p>TPPの交渉によっては、この構想にも大きな影響を受けることから、懇談会でもアピールを出して、関心を高めることも必要ではないか。</p>	その他	